

平成30年度千葉市市民参加・協働実施状況についての事前質問・回答

【質問1】 22 ページ 15 「男性の子育て支援」

平成27年度からの事業の様だが、27年度～30年度の実績はどのようなものか。
委託料81万、施設使用料等1.9万は適切なのか。委託団体及び担当課の感触はどうか。

→ **【回答】** (幼保支援課)

平成26年度から行っている事業となります。

平成26年度～30年度の実績については以下のとおりです。

	プレパパママ講座	パパスクール	イクメン応援イベント
平成26年度	172人	82人	332人
平成27年度	234人	70人	230人
平成28年度	154.5組	76人	131人
平成29年度	154組	70人	140人
平成30年度	130組	162人	93人

当該法人は全国的に男性の子育て支援を実施しており、イベントや講座後の参加者アンケートから高評価をいただいております。好感触と判断しています。

委託料についても、1回の講座につき3万円で実施しておりアンケートから満足度も高いことがうかがえ、適した委託料と考えています。

さらに、施設使用料等1.9万についても、通常市の無料施設を利用していますが、約半数については無料施設が利用できないため、市の有料施設を利用しています。こちらについても、適した使用料等だと考えています。

【質問2】 35 ページ 24 「ボランティアによる生き物調査」

具体的にはどこの調査か。集計結果はどう生かされるのか。

31年度計画にも同項目があるが、この事業を今後どのように展開するのか。

→ **【回答】** (環境保全課)

(具体的にどこの調査か)

千葉市の原風景である谷津田の生態系や自然的景観を保全しているこの谷津田における動植物の生息状況の調査です。

(集計結果はどう生かされるのか)

生物多様性の理解促進のために、谷津田保全に活躍するボランティア団体が、担当する谷津田でどのような動物や植物が生息しているかを調査していただき、専門家にその種を特定していただきます。このプロセス自体をボランティアが体験することにより、生物多様性の理解が一層深まるということが狙いです。

また、得られた集計結果は、生物多様性基本法の規定に基づく生物多様性地域戦略の策定の必要性やあり方等を検討するために供されます。

(31年度計画にも同項目があるが、この事業を今後どのように展開するのか)

本事業は、第3次実施計画に登載されている事業の一つです。

当初は、生物多様性基本法の規定に基づく本市の生物多様性地域戦略の策定について、平成29年度予算編成において要求したが、結果、一部査定となりました。

これにより事業名を「生物多様性の理解促進」となり、生き物マップ作成のための市民参加型調査の必要性が認められ、戦略の策定は必要性や目指すべき姿、他の計画との関係性などを整理し、環境基本計画の一部とすることも含め検討することとなりました。

したがって令和2年度までは、同様調査を実施し、結果を解析等しながら、戦略の必要性や目指すべき姿などの検討を行います。

【質問3】56ページ 2～7「各区自主企画事業区民対話会」

計画達成できていない区があるが、何か事情があるのか。

平成31年度も計画されているが、平成30年度実績を踏まえ、各区工夫はあるのだろうか。

→【回答】(各区地域振興課)

(中央区)

実施予定回数についてはあくまで目安であり、開催にあたってはその年度における「区民意見」や「ニーズ」を把握する必要性や、施策の企画立案の状況により変わるものであると認識しております。年によっては5回実施したこともあります。例年は1～2回程度の開催となっており、30年度についても、上記を勘案した結果、結果的に予定回数に至らなかったものです。

また、対話会は地域からの要望や市の施策推進上必要な場合等において、テーマを設けて実施しています。対話会の実施方法やテーマ等については、今後も地域の要望等を踏まえ工夫していきたいと思っています。

(花見川区)

実施予定回数についてはあくまで目安であり、開催にあたってはその年度における「区民意見」や「ニーズ」を把握する必要性や、施策の企画立案の状況により変わるものと認識しております。

開催ごとにテーマや地域を変えることで様々な意見を聞くことができ、地域の課題や問題点を把握し、得られた意見等を生かしてまいります。

(稲毛区)

区の課題に関するテーマ設定をしたり、多くの方から意見を引き出すための進行方法を工夫したりするなど、効果的な実施方法を検討しています。

(若葉区)

実施予定回数についてはあくまで目安であり、開催にあたってはその年度における「区民意見」や「ニーズ」を把握する必要性や、施策の企画立案の状況により変わるものと認識しております。

区施策の企画立案には、区政に関する課題や問題点を把握することが不可欠であることから、区民対話会から得られた意見やニーズを生かしてまいります。

(緑区)

実施回数については、毎年度、2地区で開催しており、本年度も2回実施します。また、対話会のテーマについては、事前に地区の皆様の意見をお伺いし、地域の抱える課題や要望について、活発な意見交換ができるように取り組む予定です。

(美浜区)

実施予定回数についてはあくまで目安であり、開催にあたってはその年度における「区民意見」や「ニーズ」を把握する必要性や、施策の企画立案の状況により変わるものと認識しております。

区施策の企画立案には、区政に関する課題や問題点を把握することが不可欠であることから、区民対話会から得られた意見やニーズを生かしてまいります。